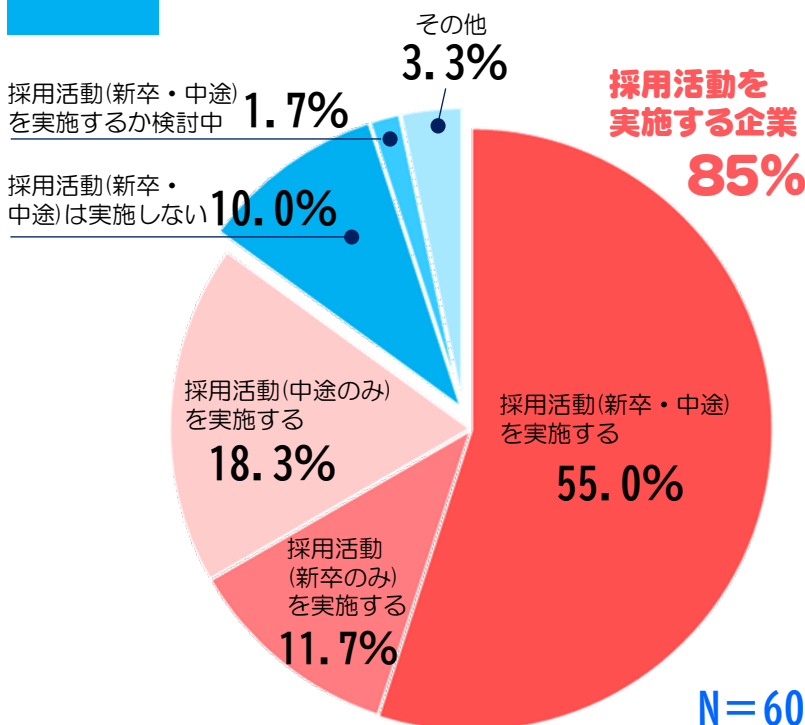


全住協メールマガジン

「コロナ禍における採用活動に関するアンケート調査」

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、採用活動の見直しを実施している企業も多くなっていることから、全住協の会員企業における令和3年度の採用活動の実施状況を把握するとともに回答集計結果を会員間で共有し、各社の対応における参考としていただきたいと思いますと考えております。

Q1 今年度の採用活動として当てはまるものを選択してください。



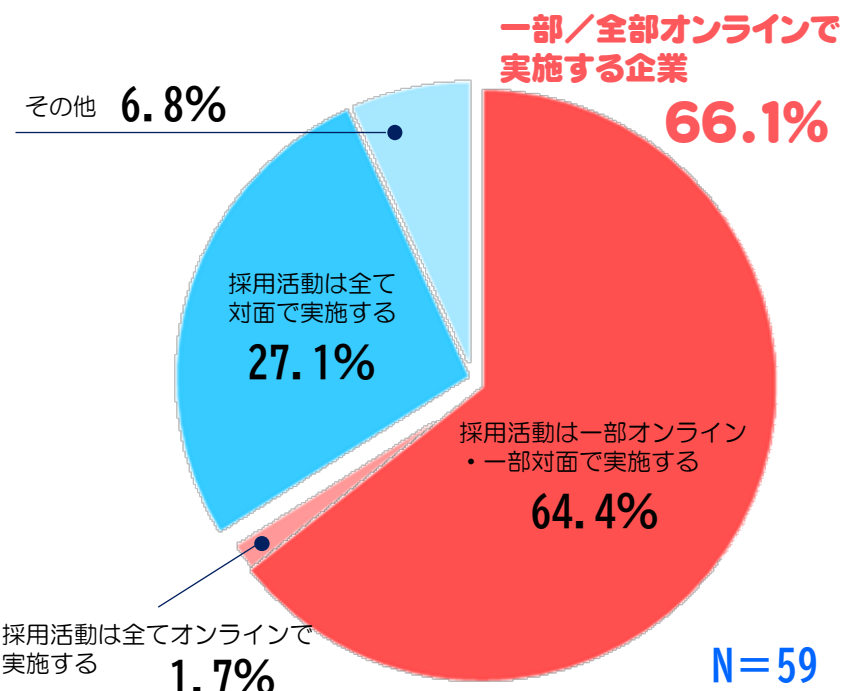
全体の85%の企業が「採用活動を実施する」と回答

今年度の採用活動についての回答は、「採用活動(新卒・中途)を実施する」が全体の55.0%を占め最多となりました。

「採用活動(新卒のみ)を実施する」「採用活動(中途のみ)を実施する」の回答と合わせると、全体の85%に上り、今年度の採用活動を実施する企業が多いことが分かります。

反対に、「採用活動(新卒・中途)は実施しない」と回答した企業は全体の10%にとどまっています。

Q2 今年度の採用活動(説明会、テスト、面接等)におけるオンライン化について当てはまるものを選択してください。



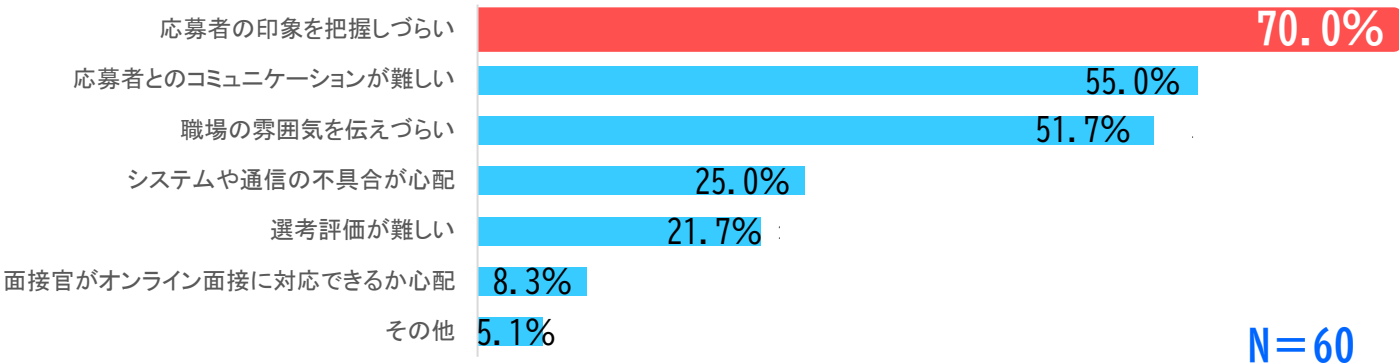
「採用活動をオンラインで実施する」という企業が約66%

採用活動のオンライン化については、「採用活動は全てオンラインで実施する」との回答は1.7%にとどまっていますが、「採用活動は一部オンライン・一部対面で実施する」との回答は64.4%で、合わせると全体の約66%を占めており、採用活動のオンライン化を実施している企業が多いという結果となりました。

一方で、「採用活動は全て対面で実施する」との回答が27.1%となっており、対面で実施するという企業も少なくないことが分かります。

Q3

採用活動におけるオンライン化を実施している、又は今後実施する場合に課題と感ずることについて当てはまるものを以下から選択してください。
(複数選択可)



採用活動におけるオンライン化の課題、「応募者の印象を把握しづらい」が最多

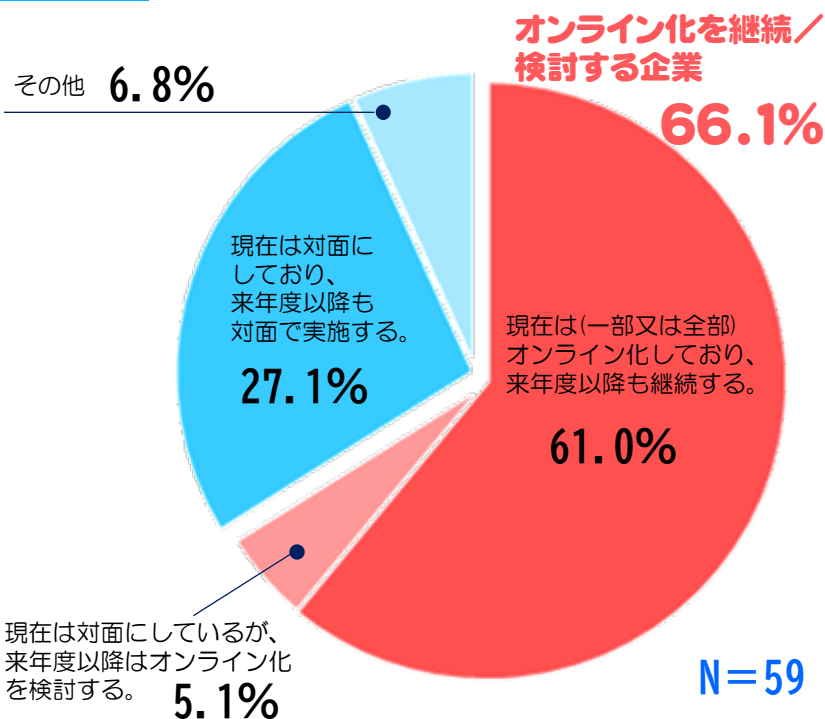
全体の70%の企業が、採用活動におけるオンライン化の課題として「応募者の印象を把握しづらい」と回答しました。

次に回答が多かったのが「応募者とのコミュニケーションが難しい」(55%)。その次に多かったのが「職場の雰囲気を伝えづらい」(51.7%)となっており、オンラインでは応募者側からの情報を得づらだけでなく、自社の情報も伝えづらいと感じる企業が多いことが分かります。

また、「システムや通信の不具合が心配」との回答は全体の25%で、「その他」として『学生側の不具合が実際に発生することもある』との回答もあり、応募者によって通信状況に差が出てしまうということが実際に起きていて、オンライン化の不安要素となっているようです。

Q4

来年度以降の採用活動について当てはまるものを選択してください。



来年度以降、オンライン化を実施・検討する企業が約66%

来年度以降の採用活動については、「現在は(一部又は全部)オンライン化しており、来年度以降も継続する」が61.0%で最も多く、「現在は対面にしているが、来年度以降はオンライン化を検討する」の5.1%と合わせると約66%の企業が来年度以降のオンライン化の継続又は検討を予定しているという結果になりました。

また、「現在は対面にしており、来年度以降も対面で実施する」との回答が27.1%と、Q2の「採用活動は全て対面で実施する」と同じ割合になっており、回答企業の内訳もほぼ同じ結果でした。現在対面で実施している企業は、そのほとんどが来年度以降も対面で実施する予定のようです。

